

末本圭子さんの紹介記事（西本新聞）

本会にも協力いただいている末本圭子さんが西日本新聞10月2日に記事になっていましたのでご紹介します。現在も各方面でイベントにかかわるなど活躍されています。フリースクールなどにも関わられた経験があります。関心がある方は連絡を取ってみたいかがでしょうか。



学が木人

今の時間が楽しい。そんな学びを追求しなくて活動している。生まれは北九州市。父親が転勤族で27歳ごろに九州内を遊つた。1980年代、周りから「女子の仕事は看護師か教師」と言われて熊本大教育学部に進んだ。在学中、2方で米田を模倣するプログラムに参加。民家にホームステイしながらバスを乗り継いだ。人も食べ物も異色からも多くの刺激を受け、「世界の広さ」を思い知った。

卒業後は熊本県で公立小学校の教員に。転勤地帯作り、キャンプ、

海外を知る人を招いた講演会。さまざまな家庭で手紙を送りつづも、学校教育の枠内でできることに限界を感じ、7年で退職した。山登りが好きで、ヒマラヤ山脈

をまわろうと決意。葉草に開き、本のアナログ調査団に同行し、その後、ネパールを拠点に単身でアジア各、国を1年かけて放浪した。帰国後、熊本県大分市で地域を元気づけす

「地元学」の活動に携わり、再びネパールへ。国立大学の学生となり、ネパール語を専攻した。インド、タイも含めた自然保護活動の現状を調査し、環境教育の教材づくりをテーマに携わって2年間フィールドワークを続けた。

「またすぐに戻ってきたい」。

友人にそう言い残して帰国したが、日本で結婚して娘を出産すると、ネパールは遠かった。娘は中学の頃、学校に行けなくなった。その状況と向き合いつつ、地域に学びの場をつくらうと設立した。学友。知人が聴く講演会の運営を手伝うようになり、娘も改めて一緒に参加した。

夫の転勤で福岡市に転居した後、福岡女子大の学友会プログラムを受講。仲間と学友会として、

学校外の学び場づくりとネパールでの活動の再開が目標となった。そして約20年ぶりにネパールへ帰郷。大地書による爪痕。出稼ぎ大工になった現状、今も続く生活文化の豊かさを追憶した。

現在は福岡市西区今宿に暮らし、紙媒体などに地域の人の話を聞き書きする。わが家の不登校を経験した母親と任意団体「マザーテラスジャパン」を結成し、講演会も企画。9月には山本ユカリ力在住の日本人民生学者を招き、九州大で観覧会を開いた。アシモも大人も虫に夢中。将来に役立つかどうかとは関係ない。そんな学びを積み重ねていけば、先々は何でもなる。自身の人生からも、そう言える。（編集後記）

「マザーテラスジャパン」共同代表
末本 圭子さん



積み重ねる「わくわく」

うみテラス夏休み企画

子どもとおとなの学び

7月9日（日）松原公民館
福岡市西区今宿1丁目10-33

子どもの居場所講座！

時間：14:30-16:30

子どもが行きたくなる、大人も安心できる居場所空間はどうやったらできるのか、考えていきましょう。

参加費：500円



講師：佐々木玲仁先生
九州大学准教授
臨床心理士
糸島市子どもの居場所
みなも運営

お菓子作り教室

時間：12:30-14:00

今宿上ノ原のいるり焼筑前堀おかみ吉田紀子さんと一緒に親子でお菓子作りを楽しみませんか？お菓子はプチトマトのコンポートゼリーです。

参加費：500円
(大人または親子5組)



自由研究やってみよう！

時間：14:30-16:00

九大ITOP科学教室によるイベント。夏休みの自由研究のヒントになるかも（ハマ）。

屋外で活動します。帽子、水分補給の飲み物を持参するなど熱中症対策を各自行ってください。

参加費無料

お申し込みは → Google formsから



うみテラスHP



お問い合わせは
E-mail: umiterrace.fukuoka@gmail.com
電話: スエト090-8661-8778

この活動は、福岡市地域の教育力育成・支援協議会からの助成金を受けています。

(イベントは終了しました)

グループ名	うみテラス
代表	吉田紀子
運営	末本圭子 大内わえ 跡部弘美
お問い合わせ	お問い合わせ専用メールアドレス umiterrace.fukuoka@gmail.com

電話 末本 090-8661-8778

